

チュートリアル課題 五感を使って

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-09-11 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032347

2014年度 Segment. 6

課 題 No.4

課題名：五感を使って

課題作成者：耳鼻咽喉科学

草間 薫



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

木村華子さんは料理教室で製菓の講師を務めている38歳の女性です。生徒さんには「お料理は五感を使ってくださいね。味はもちろんのこと、カラメルを作るときやアルコールを飛ばすときなどにはおいでタイミングをみてくださいね。」と指導しています。

シート2

製菓教室が大忙しになるバレンタイン頃からが華子さんにとっては憂鬱な季節です。通勤で外を歩いたりすると、鼻がむずむずして水のような鼻が垂れるためティッシュを手放せません。室内では比較のおちついていますが、屋外はもちろんのこと仕事中もなるべくマスクをしています。3月下旬ごろからくしゃみや鼻水がひどくなり、夜は鼻がつまって寝苦しく、翌朝はのどがいがらっぽくなってきてしまいました。

シート3

その後、鼻水はだんだん黄色くなり、粘りが出てきて、のどにもまわるようになりました。
3週間ほどたったあるとき、華子さんは焦げたにおい気がつかず、上司におこられてしまいました。これでは仕事にもさしつかえるため、病院へ行きました。
病院では、鼻の診察とにおいに関する検査を受けることになりました。

シート4

華子さんはさらに、血液検査、鼻・副鼻腔単純XP、鼻副鼻腔CT検査を受けました。

シート5

華子さんは抗菌薬と抗アレルギー剤のみぐすりと、嗅覚障害の治療のための点鼻薬を使いはじめました。屋外に出るときには、マスクだけではなく、帽子や眼鏡をかけることも勧められました。治療をはじめると、鼻汁は減って色も薄くなり、ゴールデンウィークがあけた頃には、鼻のむずむずもなくなりました。